

# 松本薫杯 第54回金沢少年少女柔道大会

## 1.目的

大会を通じて選手間の親睦を図り、夢に向かって努力を惜しまず、正しい柔道の習得に努めことができる少年少女の育成を目的とする。

## 2.主催

金沢市

## 3.主管

金沢市柔道協会

## 4.後援

石川県柔道連盟 北國新聞社

## 5.日時

令和5年9月24日（日）開会式 午前9時30分より 開場時間8時00分

## 6.会場

石川県立武道館

〒920-0811 石川県金沢市小坂町西8-3

TEL (076) 251-5721

## 7.参加資格

- (1)対象は3年生以上とし、出場する団体は、今年度全日本柔道連盟に団体登録していること。
- (2)出場は各団体1チームとする。但し、石川県内団体において編成を満たせない団体がある場合、合同での出場を認める。
- (3)出場する監督、選手は今年度全日本柔道連盟に個人登録をしていること。指導者は公認C指導員資格が有効かつ大会当日に引率をしなければならない。
- (4)指導者は大会出場にあたり、出場選手とその保護者の出場意思を確認し、同意を得ること。

## 8.選手編成

団体戦

先鋒4年生 次鋒5年生 中堅5年生 副将6年生 大将6年生 補欠3名

1学年上の位置に出場することは差し支えない。ただし、学年順、体重も軽い順に配列すること。

試合ごとにオーダーの変更を認める。但し、一度提出したオーダーは変更できない。

## 9.競技方法

小学生による団体戦とする。

予選リーグを行い、順位に応じて1～3部トーナメントに出場する。

予選終了後、同ブロック内の勝敗・得点が同点の場合は代表1名による決定戦を行う。(GSは行わない)

該当チームの対戦成績に勝敗が決している場合はその勝者を勝ちとする。

一本100点 技あり10点 僅差1点

決勝トーナメント戦において勝数・内容が同等の場合は引分者より審判員がくじ引きで

代表者を選び決定戦を行う。(GSは行わない)

## 10.試合時間

2分間 ロスタイム有り

## 11.審判規定

1.国際柔道試合審判規定及び少年大会特別規定、ならびに当大会申し合わせ事項により実施する。

2.優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上、または「指導差が2」以上とする。

代表戦において2分間で得点差がない場合は僅差判定で勝敗を決める。

代表戦の判定基準は「技あり」以上、または「指導差が1」以上とする。(GSは行わない)

## 12.表彰

1部トーナメント1位から3位、2部及び3部は1位を表彰する。

優勝チームは優勝杯を授与する。(持ち回り)

入賞チームより優秀選手(1名)を選考しKAORI賞を授与する。

### 13.申込方法

別紙申込書に必要事項を記入の上令和5年7月29日(土)までに大会事務局へ申し込む。期日厳守

〒921-8154 石川県金沢市高尾南3丁目14

大会事務局 窪田 和樹 宛 TEL076-298-1121

メールアドレス kubotaclub@spacelan.ne.jp

(問い合わせ先 携帯 080-6356-7683)

### 14.選手変更

申込提出後の選手(補欠も含む)の変更は原則認めない。但し、選手の負傷等をやむを得ない場合は9月23日(土)15時までに大会事務局に選手変更用紙に学年、体重順に配列し変更と明記しe-mailにて受け付けます。当日は受け付けません。

以降は補欠より補充し配列すること。

オーダー変更(補欠との入れ替え)は試合開始前までに本部選手変更係に申出ること。

### 15.組合せ

大会事務局で一括して行います。

### 16.参加料

1チーム 3,000円

尚、傷害保険については必要に応じて各自加入してください。また、怪我が発生した場合は必ず救護に伝えること。

### 17.審判監督会議

令和5年9月24日(日)午前8時30分より武道館内大会議室で行う。

### 18.ゼッケン

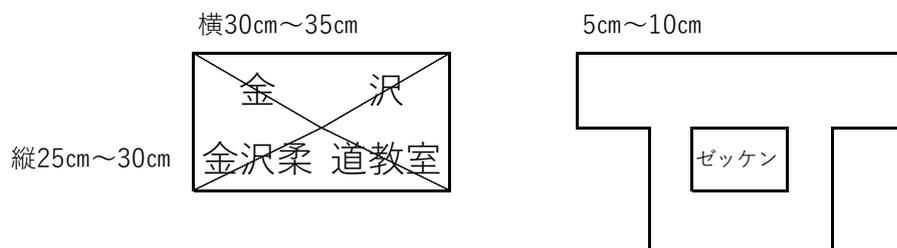
各自でゼッケンを下記要領で必ず縫い付けること。

(1)ゼッケンのサイズは横30cm~35cm、縦25cm~30cmとする。

(2)縫い付ける位置は後ろ襟から5cm~10cm下部とし、必ず対角線にも縫い付けること。

(3)ゼッケンの表記は上側2/3に苗字を、下部に全柔連に登録した所属名(チーム名)を男子は黒文字、女子は赤字で、字体はゴシック又は楷書で記載すること。

なお、同姓がチームにいる場合は、名前の最初の一字を入れる。



### 19.その他

(1)申込チームは帯同審判員を1名以上派遣ください。帯同審判員がないチームの参加は認めません。

また、ふさわしい服装をお願いします。

(2)個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

①参加申込書に記載された個人情報について大会プログラム、競技会場に掲載されます。

②競技結果(記録)報道機関により、新聞等(写真を含む)で公開されることがあります。

※大会申込書の提出により、上記取り扱いに関するご了承をいただいたものとして、対応致します。

(3)試合場におけるコーチの振る舞いについて留意してください。

(4)各チームの帯同審判員のみ昼食を支給します。

(5)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。

感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もあります。

(6)脳震盪対応について選手および指導者は下記の事項を順守してください。

①大会1か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)

⑤練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

⑥当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(7)マスク着用に関しては基本着用は求めない。

(8)各チームで事前に健康観察の上、大会に参加すること。

(9)観客席は指定場所によりご着席願います。